

公共施設をとりまく状況 (おさらい)



公共施設をとりまく状況（おさらい）

✓ 施設が古くなってきている



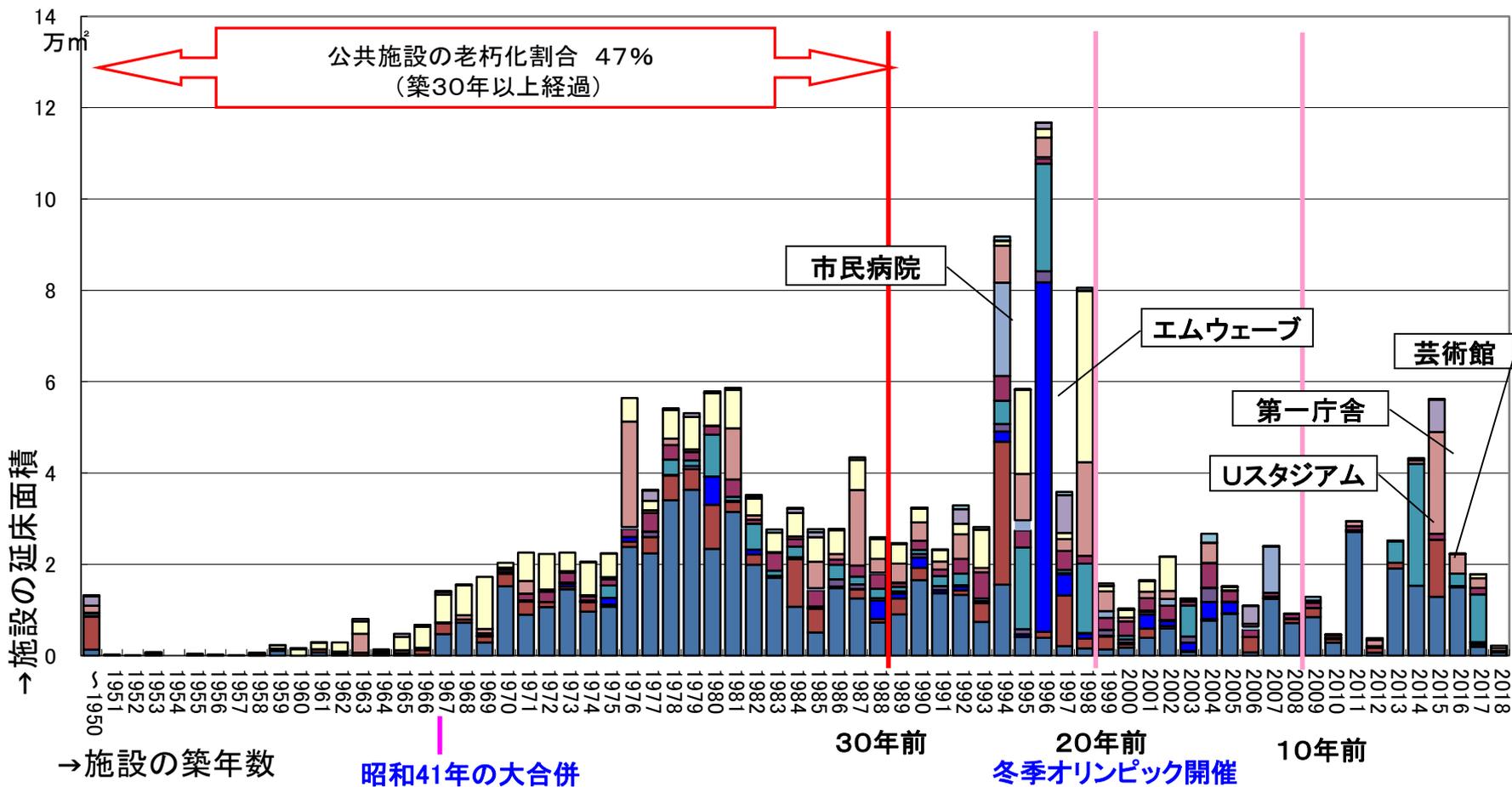
✓ 人口減少・少子高齢化が進んでいる



✓ 人口減少なのに、
施設が多いまま



✓ 施設が古くなってきている



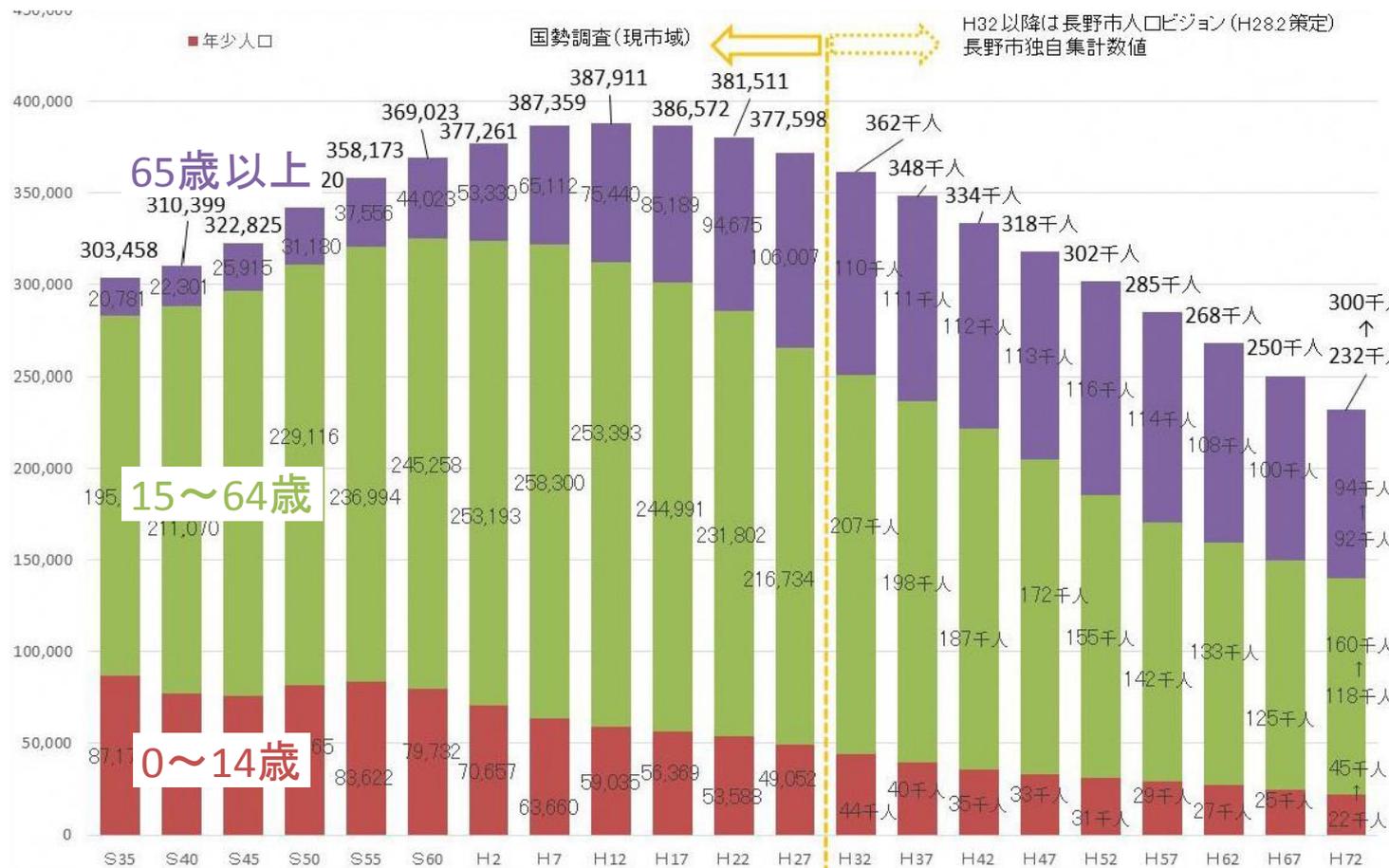
高度経済成長時代に整備した建物が
一斉に改修更新を迎える



オリンピック開催時に建てられた施設も
改修が必要な時期を迎える



✓ 人口減少・少子高齢化が進んできている

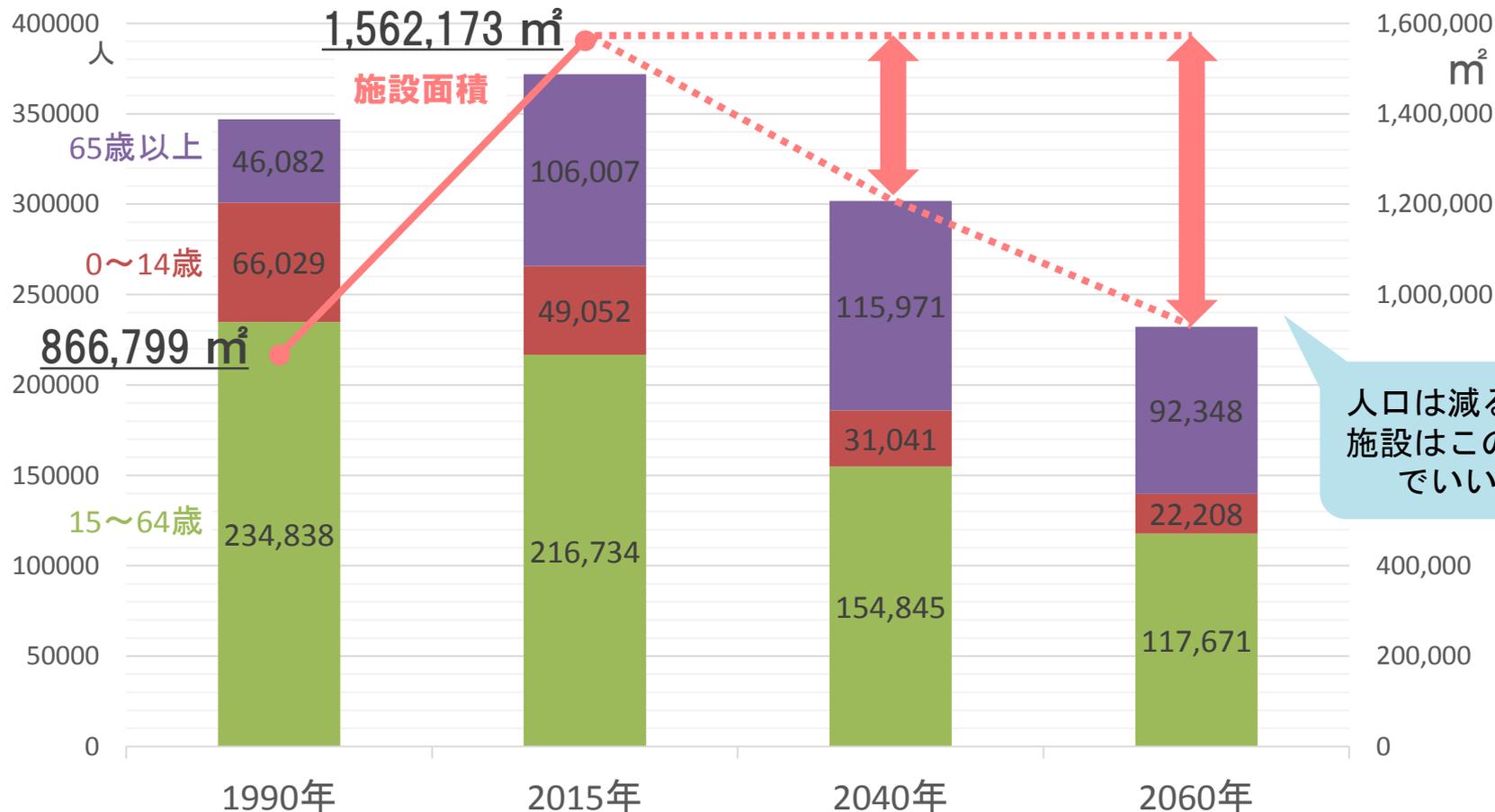


施設の利用者
自体が減少

施設の維持費より
も福祉に充てる
予算が必要

施設維持費を
負担する世代
が減少

✓ 人口減少なのに施設は多いまま



人口は減るけど施設はこのままでいい？

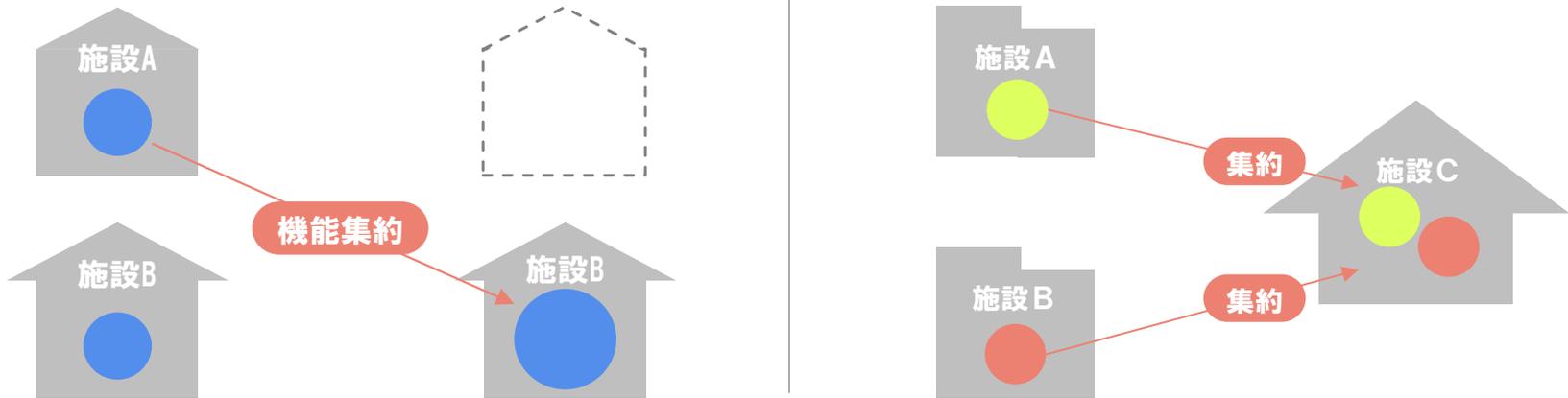
施設を作ってきた、使ってきた、
私たちが“今”見直すことが大切

公共施設の見直しをすすめるにあたって 新しい視点



新しい視点

集約化する・複合化する



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

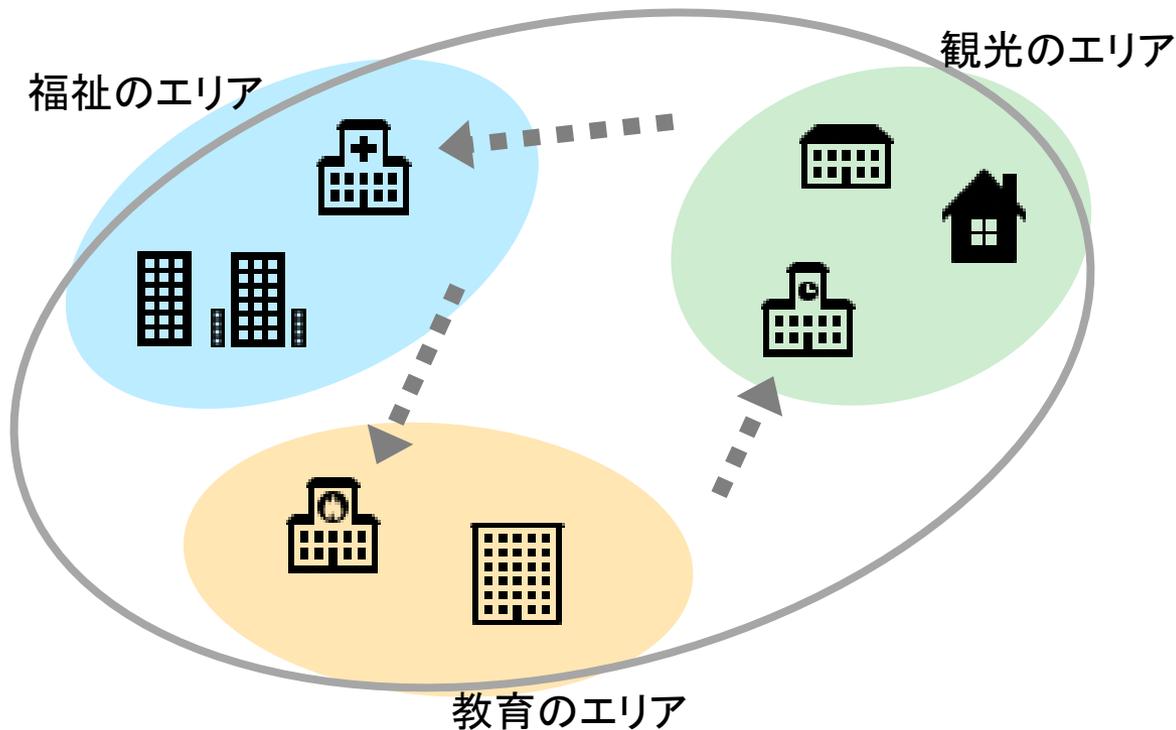
「人が集まることによる活性化」「移動時間短縮」

「多世代交流」「人員配置の効率化」

「共用部分の削減（エントランス、廊下、トイレ）」などなど

新しい視点

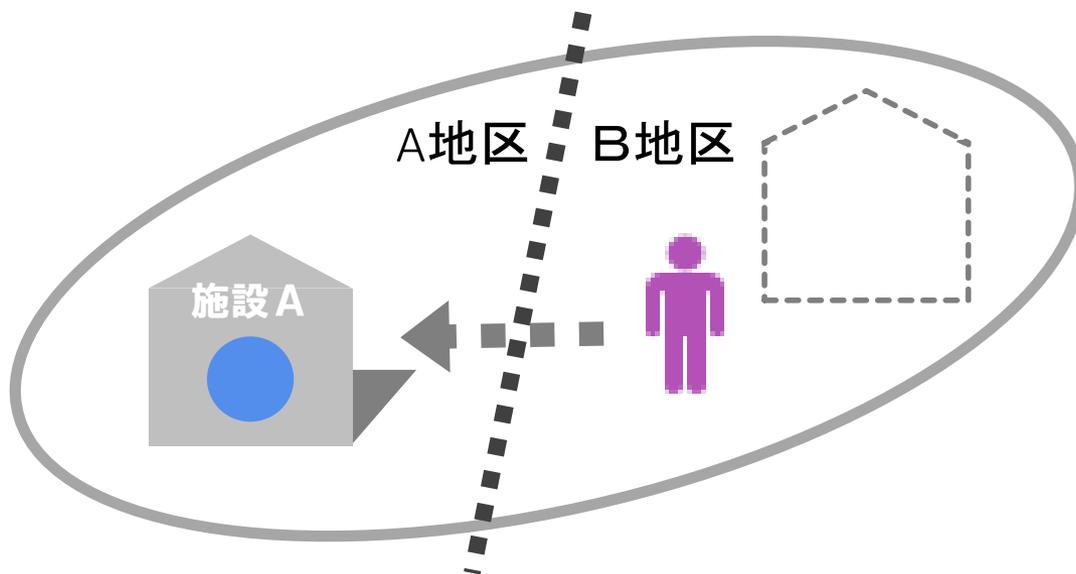
エリアで分ける



エリアで分けると集約化がはかりやすい。

新しい視点

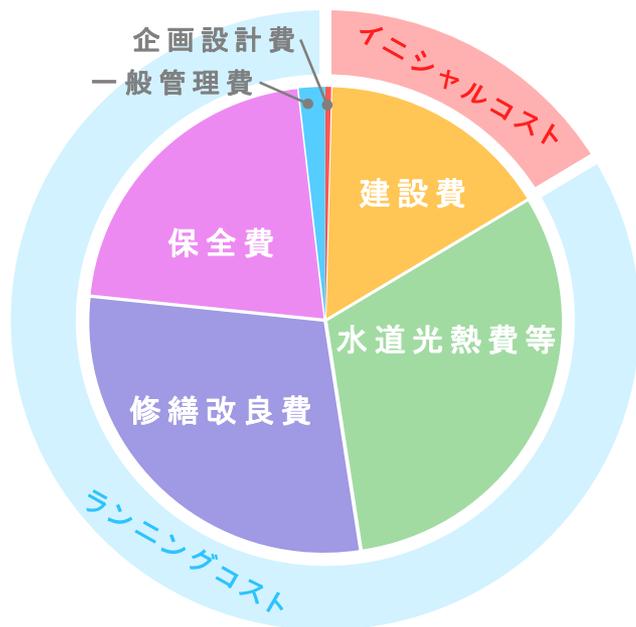
地区の外に目を向ける



他地区に使える施設があれば、積極的に活用する

新しい視点

将来まで残す施設を考える



建物を将来まで維持するコストは、
(ランニングコスト)
建物を建てる際のコストの、
(イニシャルコスト)
5～6倍といわれています。

将来まで残す施設のコストは、将来の市民が負担します。

→将来まで残していく施設はどれですか？